

ダンボの会

平成29年12月25日
ダンボの会編集委員会発行
090-5371-4439

29年度人権集会に参加して (久手小学校)

大國武美

久手小体育館で「29年度人権集会」があり、盲目のハモニカ奏者、岩崎巖氏の「わくわく、ときどき出逢いに感謝」の題で、ハモニカ演奏と講演があり、小学校全校生徒、一般、デイサービスの方と一緒に楽しい時間を過ごしました。岩崎氏は青年時代ハンマー投げの選手として活躍、中学校の校長もされたとのことで、今は、片方の目は全盲、一方の目がわずかに見えるぐらいだそうです。

なんで私がこんなことにと、自暴自棄になっておられた時期もあったと話されていました。しかし、障害があっても世間の役に立ちたいと、ハモニカを始められ、多くの施設や学校での演奏、講演に積極的に参加するようにしています。私の目が不自由であっても、周りの人は障がい者扱いせず、接してくれたことが幸せだったと言われていました。

ハモニカでは、北の国から、さくら、地上の星、涙そうそう（口笛）と、どの曲も素晴らしく、感動したのは皆さん同じだったと思います。（大拍手）最後に全員で「世界に一つの花」を合唱し盛り上がりました。

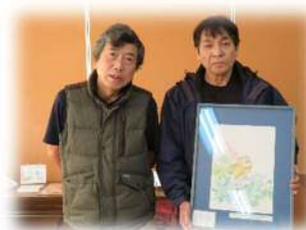
子供たちからは「心に残ったのは、できないことを数えるより、できたことを数えるようにすると楽になると話されたことです。本当に良かったです。」と感想が聞けました。

私も早く体調を回復させ「ダンボの会」に復帰できるよう頑張ります。

今年も毎週保育園、幼稚園、小学校、放課後児童クラブ（亀の子）の読み聞かせ、お疲れ様でした。今年の活動も無事終わりました。一年間、会員の皆様には大変お世話になりました。来年も「わくわくときどき」よろしくお願いいたします。

Yamasaki

「ほんだてつや絵本館」



絵本作家本田哲也さんの「ほんだてつや絵本館」が久手小学校にやってきました。本田さんの絵が並べたある部屋に入った瞬間、自分も絵本の登場人物になったような錯覚に陥りました。

生き生きとした動物たちが迎えてくれ、その動物たち一人一人の表情がとても優しく美しく、心がふっとほぐれ、この絵本の世界に入りたいそんな感動を受けました。とても油彩画とは思えない繊細さです。

さっそく絵本を4か月になる孫に送ってやりました。ジーと、じーちゃんの送った本を見つめているそうです。(；^ω^)

絵本って楽しい (子供たちが教えてくれること)

12月19日幼稚園で、尾崎智子さん（県立大学お話しレストランライブラリー司書）による研修会があり、指遊び、手遊び、選書をどうするか等々について、ダンボの会からも12名の会員が参加して研修を受けました。

